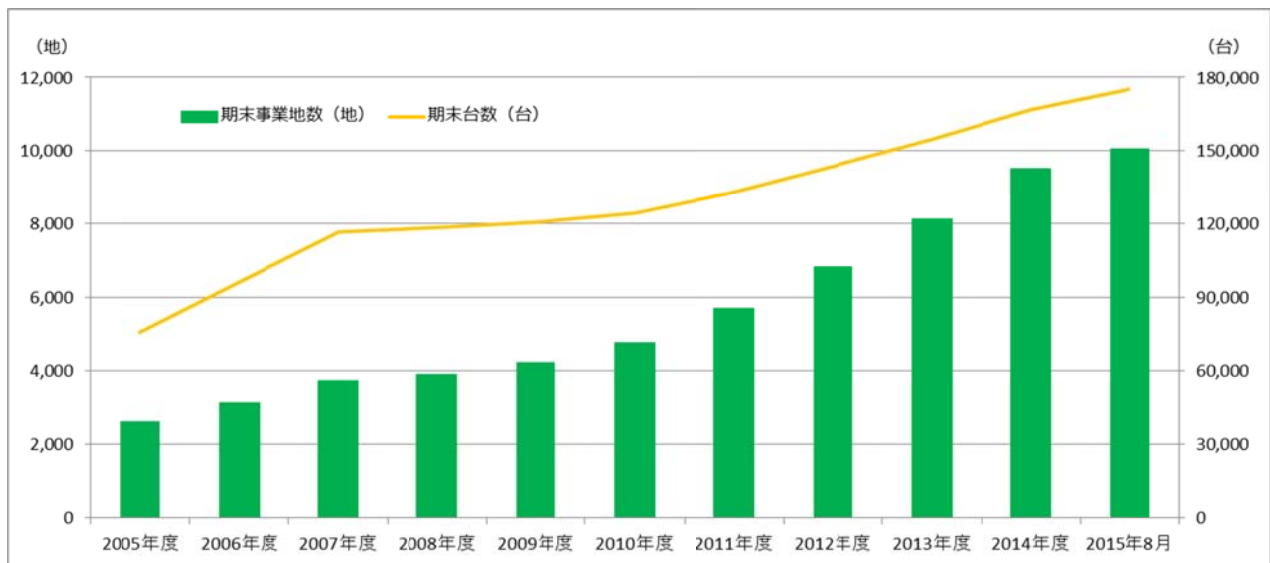


「三井のリパーク」 駐車場が 1 万事業地を突破

～ 駐車場を「社会インフラ」と位置づけ、「管理台数拡大」と「地域貢献」の両面から事業推進 ～

三井不動産リアルティ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山代裕彦)は、駐車場事業「三井のリパーク」が運営管理する駐車場の事業地数が、2015年8月末時点で1万事業地を突破したことをお知らせいたします。

■「三井のリパーク」事業地数・管理台数の推移



三井不動産リアルティは、交通渋滞の緩和による環境保全や物流効率の向上、違法駐車削減といった、さまざまな社会のニーズに応えるべく、1994年に駐車場事業「三井のリパーク」を開始して以来、順調に事業地数を増やしてまいりました。現在では、日本全国46都道府県の1万を超える事業地において、17万台を超える駐車場を運営管理しています。

また、駐車場づくりにおいては、「社会インフラ」としての機能にこだわった取り組みも行っています。太陽光発電で消費電力を大幅削減する「ハイブリッドソーラーシステム」の導入や「電気自動車用充電器」の設置など環境配慮型の駐車場、非常時に役立つ「ソーラーLED街路灯」や「非常電源」「防災用品」「AED(自動体外式除細動器)」を配備した非常時対応型の駐車場、「カーシェアリング」の導入など、駐車場の利用者だけでなく、環境や近隣にも配慮した駐車場づくりを進めております。

三井不動産リアルティは、車社会のインフラとして機能する駐車場だからこそ、環境へ配慮し地域社会へ貢献すべきという考えのもと、今後も快適で安全な街づくりをサポートする駐車場づくりを進めてまいります。

本件については、以下の記者クラブへ資料を配布しております。
 国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・自動車産業記者会

～ 本件に関するお問い合わせは ～
 三井不動産リアルティ株式会社 企画部 秘書広報グループ
 薄木・妹尾 TEL03(6758)4062